

ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

応用地域学会ニュースレター（日本語版）, No.60, February 2006

ARSC 事務局：〒162-0485 東京都新宿区市ヶ谷本村町 2-9
（財）計量計画研究所
応用地域学会事務局 文部省学会コード=10023
会長：柏谷増男、 担当：宮本成雄
TEL: (03)3268-9692
FAX: (03)3268-9919
E-mail: clerk@arsc.org

主要項目： 第 19 回研究発表大会報告
2005 年度坂下賞
2006・2007 年度運営委員の選挙について
第 20 回研究発表大会のご案内
会員の入退会について
会員名簿の作成について
2006 年度会費納入のお願い
総会報告
事務局だより

1. 第 19 回研究発表大会報告

大会委員長 前川俊一（明海大学）

応用地域学会（ARSC）の第 19 回研究発表大会は、2005 年 12 月 10 日（土）と 11 日（日）の両日、明海大学浦安キャンパスで開催された。国内外から 200 名近くの参加者を迎え、終始、活発な報告と討論等が行われたことに対して感謝の念を表明したい。

今回のプログラム（委員長：東京大学田淵隆俊氏）は、これまでと同様に、Early Bird Session、一般セッション、シンクタンク・セッションの 3 区分に従って構成され、合計 59 編の研究論文が発表された。また、2004 年度「坂下賞」（Sakashita Prize）の受賞者である京都大学の森知也氏が坂下賞講演も行われた。講演は「On the Detection of Industrial Agglomerations」と題する興味深い研究報告であった。

一般セッションでは、空間経済、空間統計、交通、立地、社会資本、都市・医療、住宅・防災、不動産、国際経済、産業集積、応用一般均衡、公共事業、といった 18 の多彩なテー

マが用意され、合計 42 編の研究論文が発表され、各セッションにおいて活発な議論が行なわれた。

シンクタンク・セッションでは 3 編だけの発表であったが、それらは、「貨物車の時間価値計測に関するレビュー」、「国際コンテナ港湾整備の経済評価」および「わが国住宅市場における実現キャップレートの研究」と題する極めて興味深い研究発表であった。

「Early Bird セッション」は大学院生や若手研究者のために用意されたセッションで、5 つに分かれて新進気鋭の若手研究者による 14 編の研究報告があった。いずれも今後の活躍が期待されるものであった。

本大会の総会時には、坂下賞選考委員会（委員長:京都大学の藤田昌久氏）による選考結果が披露され、その結果に基づき、2005 年度「坂下賞」が香川大学の曾道智氏に授与され表彰された。ちなみに、本選考規程によれば、「坂下賞」の受賞対象は「地域科学の理論的研究、実証的研究及び政策的研究のいずれか（あるいは複数の領域）で大きな貢献をなし、現在もなお継続的に研究活動を行っていること」となっている。

2. 2005 年度坂下賞 (Sakashita Prize)

坂下賞選考委員会 委員長 藤田昌久(京都大学)

2005 年度の坂下賞については、選考委員会の慎重なる議論を経、以下のように曾道智氏に決定しました。

受賞者；曾 道智(Zeng, Dao-Zhi)：香川大学大学院地域マネジメント研究科助教授

受賞理由；

曾氏はこれまで、J.of Economic Geography, J.of Development Economics, RSUE, JRS ,IEEE Transactions などの国際ジャーナルに 16 編の論文を発表（予定を含む）している。国際ジャーナルに現在投稿中の論文も数編ある。また、国内外の学会での口頭発表も頻繁で、活発な研究活動を展開している。曾氏の研究テーマは大別して、2 つある。一つは空間経済学に関連するもので、解析可能なモデルの開発を行い、特に工業部門の立地分布に関して農業部門の役割を明らかにした。この成果をさらに発展させ、「産業再分散」が生ずる条件を明らかにしている。本研究の成果に対して 2004 年の Springer-Verlag 賞が授与された。この一連の研究の中で、動学モデルの均衡安定性条件を分析したことも大きな貢献である。曾氏のもう一つの研究テーマは地域間コンフリクト分析である。ゲーム理論の手法を用いて新しい仲裁法の開発に成功し、Law and Economics の専門家の注目も集めている。さらに、理論的分析に加え、新たに実験経済学の手法を導入し、これまでの理論成果を実用化する道も探っている。仲裁メカニズムの実用化を目指した研究は実践的地域科学の重要な分野である。総じて、曾氏はその高い数学的分析能力を生かした、学際的研究者として高く評価される。

以上のように、曾道智氏は応用地域学会が世界に誇りうる業績を上げてきた若手の研究者

であり、将来における更なる活躍が期待できる。よって、2005年度坂下賞の受賞者として相応しいと判断された。

坂下賞表彰式は、応用地域学会総会終了後に行われ、曾道智氏には、柏谷会長から、表彰状（盾）と金一封が授与されました。

3. 2006・2007年度運営委員挙について

選挙管理委員 貝山道雄（埼玉大学）

米川誠（(財)計量計画研究所）

ARSC会則第6条および内規Iにしたがって、下記の要領で第9期(2006年4月1日から2008年3月31日まで)運営委員の選挙を行います。

内規I第3条に従い、選挙管理委員は会長指名により、埼玉大学の貝山道博会員と(財)計量計画研究所の米川誠会員が務めることが決まりました。

投票は、同封の葉書の郵送により、3名連記の投票をお願いいたします。投票の締め切りは、2006年3月25日（当日消印有効）といたします。

（同封の運営委員選挙の案内に従って投票をお願いいたします）

4. 第20回研究発表大会のご案内

2006年度のARSC研究発表大会は、広島大学・伊藤敏安教授（地域経済システム研究センター長）を大会実行委員長として、下記の要領にて実施されます。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日程：2006年12月9日（土）、10日（日）

会場：広島大学東千田キャンパス

（広島市中区東千田1-1-89）

発表申込み〆切：2006年8月末（予定）

論文提出〆切：2006年10月末（予定）

お問合せ：ARSC事務局

（発表申込先および受付開始時期を含む詳細については、ARSC NEWS次号に掲載いたします。）

5. 中国大会の開催について

12月の総会で紹介されたARSC中国大会は、日中の地域科学の研究交流を目的とし、華東師範大学（中国上海）とARSCとの共催セミナーとして開催の準備が進められています。中国セ

ミナーの概要（予定）は以下のとおりです。詳細は確定次第お知らせ致します。

開催日；2006年9月23日（土）～24日（日）

場 所；華東師範大学（East China Normal University, 中国上海）

プログラム概要（協議中）

- ・ 基調講演
- ・ 2005年度坂下賞受賞者講演
- ・ 日中それぞれからのpaper発表・討論・質疑応答
（paper件数・選定等未定）
- ・ 言語は英語のみ
- ・ 懇親会（9月23日）

6. 会員の入退会について

2005年度総会（2005年12月10日）において、前回総会以降に入会を申し込まれた以下の方々について、入会が承認されました（順不同・敬称略）。

入会

一般 12名

柴崎隆一(国土交通省国土技術政策総合研究所)、三好博昭(同志社大学 技術・企業・国際競争力研究センター(ITEC))、藤澤宜広(沖縄大学)、石川路子(神戸大学大学院)、久武昌人((独)経済産業研究所)、藤見俊夫(京都大学防災研究所)、土谷和之((株)三菱総合研究所)、鶴田伸介((株)地域計画連合)、吉村充功(日本文理大学)、李友炯(九州工業大学)、山口勝弘(東京大学公共政策大学院)、牧浩太郎((株)三菱総合研究所)

学生 14名

後閑利隆(京都大学大学院)、田中逸夫(山口大学大学院)、安祺(名古屋大学大学院)、金坂成通(大阪大学大学院)、早川和伸(慶應義塾大学大学院)、奥山忠裕(東北大学大学院)、羽鳥剛史(京都大学大学院)、劉嘉茵(岐阜大学大学院)、井上綾子(上智大学大学院)、稲垣雅一(東北大学大学院)、川崎晃央(九州大学大学院)、木村洋史(筑波大学大学院)、安起正(京都大学大学院)、碁勇(東北大学大学院)

賛助会員 1団体

(財)日本不動産研究所(名古屋支所)

同時に以下の方々の退会が承認されました(敬称略)。

退会

本人の申し出によるもの(16名、1団体)

中野敦((財)計量計画研究所)、河野良平((株)島津ビジネスシステムズ)、渡邊一成((財)

計量計画研究所)、日野正輝(東北大学大学院)、和泉潤(名古屋産業大学)、富田安夫(神戸大学)、田村浩之(総務省郵政研究所)、岡田卓也((株)コーエイ総合研究所)、津田治(稚内北星学園大学)、藤原健司((株)ディーシーカード)、内田信行(流通経済大学)、有留順子(京都大学大学院)、杉田孝(神戸大学大学院)、日吉拓也(筑波大学大学院)、板谷和也(東京大学大学院)、宮田幸子(東京大学大学院)、(財)北九州都市協会

この結果、2006年1月31日現在の会員数は、個人会員が、一般会員 378 名、学生会員 65 名、海外会員 12 名、賛助会員 13 団体 (計 21 口) となります。

7. 会員名簿の作成について

会員相互の連絡・情報交換に寄与する目的で、会員名簿を作成しておりますが、個人情報保護法の施行に伴い、名簿への掲載情報を確認した上で発行することになりました。総会において承認されましたように、事務局のみ利用の会員管理情報(必須)と名簿に掲載する必須項目と選択項目(名簿掲載の可否の選択)に分けて情報収集いたします。

名簿作成の情報提供については、おって、メール又は郵送でお願いいたしますのでご協力をお願いいたします。

会員情報の収集、名簿作成、名簿管理等個人情報の扱いについては、学会の「個人情報保護基本方針」(別掲)に則って厳密に行います。

8. 2006 年度会費納入のお願い

会員データベースに基づいて発行された請求書を同封しています。ご請求額を3月22日までに応用地域学会の郵便振替口座(00120-1-253855)にお振込み下さい。また、この請求額について疑義のある場合には、学会事務局までお問い合わせ下さい。なお、お振込みの際には、ご面倒でも振替用紙の所定欄に振込金額の明細を必ずご記入下さい。

(1) ARSC 会費

2006 年度会費は、一般会費 10,000 円、学生会員 5,000 円、賛助会員 1 口 50,000 円です。また、海外会員(日本人の短期滞在者を除く)は、ARSC 年報を購読される場合\$80、RURDS のみの場合\$60 です。なお、海外からお支払いの場合は、日本国内の知人を経由して日本円でお支払い頂くのが最善ですが、それが不可能であれば、アメリカの銀行で振り出された US ドル建ての小切手、アメリカの銀行に口座をお持ちでない方は、国際郵便為替をご利用下さるようお願いいたします。

(2) RSAI (国際地域学会) 会費

RSAIの事務局がイリノイ大学(米国)からリーズ大学(英国)に移動し、会員サービス・運営等はブラックウェル社に移管されました。それに伴い会員サービス等も変更され、機関紙Papers in Regional Scienceも、Blackwell Synergy上で閲覧できるようオンライン化されています。(Papers in Regional Scienceは、印刷冊子としての購読もできます)会員へのサービス内容および会費等の詳細については、追ってお知らせします。

<会員の継続・入会の希望>

従来からのRSAI会員の方は、特に退会の申し出のないかぎり会員を継続されると判断します。また、新規に入会を希望される方は、払い込み票の所定欄にその旨ご記入ください。

<ジャーナルを印刷物で購読の希望>

既に会員の方および入会を希望される方で、ジャーナル(Papers in Regional Science)を印刷物での購読を希望される方は、払い込み票の所定欄にその旨ご記入ください。

(ジャーナルを印刷物で購読される場合、7,000円(予定)を追加)

<RSAI会費の納入について>

サービス内容並びに会費等の詳細が確定次第、ご請求します。(既に払い込まれている方には、精算いたします。)

9. 総会報告

2005年度の総会は、12月10日明海大学において行われました。

議題と主な報告、議論等；

1) 学会活動報告及び活動方針

柏谷会長より、2005年度の活動方針を中心とした学会の運営方針が示されました。

2) 会員異動報告 (前掲)

3) 2004年度決算 (別掲)

4) 2006年度予算 (別掲)

5) 個人情報保護に関する取り組み

ARSCの個人情報保護基本方針(別掲)が承認され、これに基づき名簿作成が行われることが承認されました。

6) 応用地域学会 2005年度坂下賞

坂下賞選考委員会委員長藤田昌久先生(京都大学)より、2005年度の坂下賞についての選考経緯と受賞者の発表がなされました。

受賞者には、次年度の研究発表大会において特別講演をしてもらうことなどの報告がありました。

(授賞者 前掲、2005年度選考委員 別掲)

7) ジャーナルの編集状況及び今後の方針について

① 応用地域学研究

2005年度より新しく編集委員長になられた岡山大学中村良平先生より編集

状況の報告と今後の取り組みが報告されました。

- ・ ジャーナルの年 2 回発行をレギュラー化する。次回は、7 月出版予定。
- ・ ISSN コード（逐次刊行物国際標準コード）の取得（登録）
- ・ 関係研究機関等への配布とジャーナルのアピール
- ・ 書評・出版情報の紹介などの開催内容の充実

②RURDS

RURDS 刊行に関しての科研費の増額があったこと、RURDS の電子ジャーナルへのアクセスが、極めて多くなっていること、また若手の投稿を歓迎する旨の土井編集委員長からのメッセージが紹介されました。

8) 2006 年度研究発表大会の開催について

(前掲)

なお、年次大会とは別に、日中の地域学の交流のために、9 月下旬を目標に中国での大会開催を前向きで検討することが報告承認されました。(別掲)

9. 事務局だより

- **第 19 回 ARSC 研究発表大会**は、明海大学浦安キャンパスで開催され、大変な活況を提しておりました。今大会の委員長を勤められた前川先生、陣頭指揮を取られた浅田先生の大変なご尽力をはじめ、明海大学の皆様、プログラム委員長を勤められた田淵先生とプログラム委員の先生方のご苦勞に対し、また様々な側面でご協力いただきました皆様に、深く感謝申し上げます。
- **運営委員の選挙**です。2006 年度からの運営委員の方々を選出する大切な選挙です。年度末を控え、そして新年度への準備と、何かとご多忙の折かと思いますが、お忘れなきようお願い申し上げます。
- **個人情報保護法**が施行されてまもなく一年になります。総会において、ARSC の個人情報保護基本方針が承認されました。これに従いまして、会員相互の交流のための名簿作成を行いますが、個人情報としての名簿の管理には、細心厳密な対応をしていきたいと思っております。
- 地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人、または団体が周囲に居られましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。個人会員用の入会申込書は ARSC のホームページ(<http://www.arsc.org/arscform-j.html>)より入手可能です。また、Email によるお申し込みも受け付けておりますので、記入事項を ARSC ホームページにてご確認の上、必要事項を記入して clerk@arsc.org 宛てに Email でお申し込み下さい。
(ARSC 事務局 宮本成雄)

2004年度決算書

応用地域学会2004年度決算書（2005年3月31日）

| 収入の部 | 2004年度予算 | | 2004年度決算 | |
|---------------------|------------|----------|------------|------|
| | 円貨 | ドル貨 | 円貨 | ドル貨 |
| 1.繰越金 | 7,895,760 | 0.00 | 7,895,760 | 0.00 |
| 2.個人会費収入 | 4,275,000 | 2,100.00 | 3,936,617 | 0.00 |
| 3.RSAI会費 | 849,600 | 0.00 | 656,930 | 0.00 |
| 4.賛助会費収入 | 1,250,000 | 0.00 | 900,000 | 0.00 |
| 5.補助金(科学研究費補助) | 1,300,000 | 0.00 | 1,500,000 | 0.00 |
| 6.大会参加費収入 | 400,000 | 0.00 | 1,109,000 | 0.00 |
| 7.大会開催寄付金 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 8.利子収入 | 0 | 0.00 | 38 | 0.00 |
| 9.雑誌販売(Back Number) | 0 | 0.00 | 171,829 | 0.00 |
| 10.その他 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 収入合計 | 15,970,360 | 2,100.00 | 16,170,174 | 0.00 |
| (繰越金を除く収入合計) | 8,074,600 | 2,100.00 | 8,274,414 | 0.00 |

| 支出の部 | 2004年度予算 | | 2004年度決算 | |
|----------------|-----------|----------|-----------|------|
| | 円貨 | ドル貨 | 円貨 | ドル貨 |
| 1.RURDS刊行費 | 4,360,000 | 0.00 | 4,172,000 | 0.00 |
| (編集印刷経費) | 1,300,000 | 0.00 | 1,500,000 | 0.00 |
| (刊行・発送費) | 3,060,000 | 0.00 | 2,672,000 | 0.00 |
| 2.年報刊行費 | 1,000,000 | 0.00 | 744,683 | 0.00 |
| 3.大会開催費 | 650,000 | 0.00 | 1,185,221 | 0.00 |
| 4.RSAIへの送金 | 849,600 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 5.坂下賞 | | | 121,000 | |
| 6.名簿印刷費 | 50,000 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 7.ニューズレター等印刷費 | 200,000 | 0.00 | 106,155 | 0.00 |
| 8.一般事務費 | 210,000 | 0.00 | 317,238 | 0.00 |
| (郵送費) | 150,000 | 0.00 | 216,480 | 0.00 |
| (消耗品等) | 10,000 | 0.00 | 79,133 | 0.00 |
| (謝金等) | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| (銀行手数料) | 50,000 | 0.00 | 21,625 | 0.00 |
| 9.事務局費 | 500,000 | 0.00 | 500,000 | 0.00 |
| 10.予備費 | 200,000 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 支出合計 | 8,019,600 | 0.00 | 7,146,297 | 0.00 |
| 繰越金 | 7,950,760 | 2,100.00 | 9,023,877 | 0.00 |
| ドル貨円換算(手数料を除く) | 169,500 | | | |
| 繰越金合計 | 8,120,260 | | 9,023,877 | |

注:2001年度よりドル口座を廃止。海外会員の会費納入は、すべて円に換金して円口座に入金。

監査の結果、決算は適正になされていることを認めます。

2005年 12月 6日 監査委員 岡本亮介 

2005年 11月 28日 監査委員 山村能郎 

2006年度予算書

応用地域学会2006年度予算書

| 収入の部 | 2004年度決算 | | 2005年度予算 | | 2006年度予算 | |
|---------------------|------------|------|------------|----------|------------|----------|
| | 円貨 | ドル貨 | 円貨 | ドル貨 | 円貨 | ドル貨 |
| 1.繰越金 | 7,895,760 | 0.00 | 9,023,877 | 0.00 | 9,150,877 | 0.00 |
| 2.個人会費収入 | 3,936,617 | 0.00 | 4,275,000 | 1,800.00 | 4,375,000 | 1,800.00 |
| 3. RSAI会費 | 656,930 | 0.00 | 778,800 | 0.00 | | 0.00 |
| 4.賛助会費収入 | 900,000 | 0.00 | 1,250,000 | 0.00 | 1,200,000 | 0.00 |
| 5.補助金(科学研究費補助) | 1,500,000 | 0.00 | 1,500,000 | 0.00 | 1,600,000 | 0.00 |
| 6.大会参加費収入 | 1,109,000 | 0.00 | 540,000 | 0.00 | 30,000 | 0.00 |
| 7.大会開催寄付金 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 8.利子収入 | 38 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 9.雑誌販売(Back Number) | 171,829 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 10.その他 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 収入合計 | 16,170,174 | 0.00 | 17,367,677 | 1,800.00 | 16,355,877 | 1,800.00 |
| (繰越金を除く収入合計) | 8,274,414 | 0.00 | 8,343,800 | | 7,205,000 | |

| 支出の部 | 2004年度決算 | | 2005年度予算 | | 2006年度予算 | |
|----------------|-----------|------|-----------|----------|-----------|----------|
| | 円貨 | ドル貨 | 円貨 | ドル貨 | 円貨 | ドル貨 |
| 1. RURDS刊行費 | 4,172,000 | 0.00 | 4,560,000 | 0.00 | 4,720,000 | 0.00 |
| (編集印刷経費) | 1,500,000 | 0.00 | 1,500,000 | 0.00 | 1,600,000 | 0.00 |
| (刊行・発送費) | 2,672,000 | 0.00 | 3,060,000 | 0.00 | 3,120,000 | 0.00 |
| 2.年報刊行費 | 744,683 | 0.00 | 1,000,000 | 0.00 | 1,000,000 | 0.00 |
| 3.大会開催費 | 1,185,221 | 0.00 | 650,000 | 0.00 | 650,000 | 0.00 |
| 4. RSAIへの送金 | 0 | 0.00 | 778,800 | 0.00 | 656,930 | 0.00 |
| 5.坂下賞 | 121,000 | 0.00 | 121,000 | 0.00 | 121,000 | 0.00 |
| 6.名簿印刷費 | 0 | 0.00 | 170,000 | 0.00 | 170,000 | 0.00 |
| 7. ニュースレター等印刷費 | 106,155 | 0.00 | 200,000 | 0.00 | 200,000 | 0.00 |
| 8.一般事務費 | 317,238 | 0.00 | 310,000 | 0.00 | 310,000 | 0.00 |
| (郵送費) | 216,480 | 0.00 | 250,000 | 0.00 | 250,000 | 0.00 |
| (消耗品等) | 79,133 | 0.00 | 10,000 | 0.00 | 10,000 | 0.00 |
| (謝金等) | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| (銀行手数料) | 21,625 | 0.00 | 50,000 | 0.00 | 50,000 | 0.00 |
| 9.事務局費 | 500,000 | 0.00 | 500,000 | 0.00 | 600,000 | 0.00 |
| 10.予備費 | 0 | 0.00 | 50,000 | 0.00 | 50,000 | 0.00 |
| 支出合計 | 7,146,297 | 0.00 | 8,339,800 | 0.00 | 8,477,930 | 0.00 |
| 繰越金 | 9,023,877 | 0.00 | 9,027,877 | 1,800.00 | 7,877,947 | 1,800.00 |
| ドル貨円換算(手数料を除く) | | | 123,000 | | 123,000 | |
| 繰越金合計 | 9,023,877 | | 9,150,877 | | 8,000,947 | |

注:2001年度よりドル口座を廃止。海外会員の会費納入は、すべて円に換金して円口座に入金。

個人情報保護に関する応用地域学会の取り組み

2005年4月1日より、個人情報保護法が全面施行されました。この法律は、個人情報の不適切な取り扱いによる個人の権利利益の侵害を未然に防止するため、個人情報の取り扱いに当たって守るべきルールを定めたものです。本学会でも、法律に準拠した対応を取り、以下に示す「個人情報保護基本方針」を定めると共に、具体的な対応策を講じることとしました。

応用地域学会「個人情報保護基本方針」

1. 本会は、個人情報の適切な取り扱いに関する法令その他の規範を遵守する。
2. 本会は会則に定める目的及び事業を行うため、特定の個人を識別できる情報（以下「個人情報」という）を必要な範囲で収集します。「個人情報」の収集にあたっては、目的を明示するとともに、提供者の意志に基づく情報の提供によることとします。
3. 本会は、「個人情報」を収集目的達成に必要な範囲で利用します。ただし、法令の規定に基づくとき、提供者の同意があるとき、総会で承認された事業計画達成のため正当な理由があるときには、その範囲を越えて利用または提供することがあります。
4. 本会は、利用目的達成に必要な範囲で、保有している「個人情報」が事実と合致しているように努めるとともに、「個人情報」が外部へ漏洩したり、破壊、改ざん、紛失することのないよう適切な管理に努めます。また、「個人情報」提供者から自己の「個人情報」の開示請求があったときは原則として開示し、自己の「個人情報」の訂正申し出があったときは、速やかに訂正等を行います。

個人情報保護管理体制

学会長を、個人情報保護管理体制の実施や運用について、監督責任を有する「個人情報保護管理者」と定め、事務局長を、学会事務局における個人情報管理事務責任を有する「個人情報保護責任者」と定める。

2005年度坂下賞選考委員会

委員長 藤田 昌久 (京都大学)
委員 金本 良嗣 (東京大学)
委員 佐々木公明 (東北大学)
委員 柏谷 増男 (愛媛大学 ARSC 会長)
委員 小林 潔司 (京都大学 ARSC 副会長)

2004年から2007年の間の選考委員の任期についての申し合わせ

2004年の運営委員会で3名（藤田昌久氏、佐々木公明氏、金本良嗣氏）の選考委員が選ばれた。第6条に定めた、委員任期3年、1年にひとりずつ新任および退任の規則に合致させること、に整合させるために、

2005年は、上記3名が継続、

2006年は、藤田昌久氏が退任して、2006年度運営委員会選出委員が新任、

2007年は、金本良嗣氏が退任して、2007年度運営委員会選出委員が新任、

2008年は、佐々木公明氏が退任して、2008年度運営委員会選出委員が新任する。